



2024年9月18日

ENEOSリニューアブル・エナジー株式会社

ノルウェーでの浮体式洋上風力発電事業に参画

ENEOSリニューアブル・エナジー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：竹内一弘、以下「ERE」）は今般、ノルウェーのゴリアットヴィンド（GoliatVIND）浮体式洋上風力発電事業（以下「本事業」）を行う事業会社の株式の20%を購入する契約を締結しました。

本事業は設備容量7.5万kW（1.5万kWの風車5基、オドフェルオーシャンウィンド製セミサブ形式のDeepsea Star™の鋼製浮体式基礎）の浮体式洋上風力発電所を、ノルウェー北部のノルウェー海北部とバレンツ海の境界にある沖合、水深約400mの位置に建設し運営する事業です。今後、他の株主であるソースガリレオ、オドフェルオーシャンウィンド、関西電力グループと共同で開発し、2028年の商用運転を目指して開発を進めています。

ノルウェー政府は2030年までにCO2削減目標を1990年比で50-55%に設定しており、その達成には石油・ガス業界で使用する電力を再生可能エネルギーにすることが必須です。また、洋上風力導入についても2040年時点で30GWの導入目標を掲げ、政府補助金の議論も進んでいます。その実現にはポテンシャルの大きい浮体式洋上風力の実現が不可欠で、本プロジェクトはその試金石となります。本プロジェクトは今年初め、浮体式洋上風力発電の実証とコスト削減を目的として、ノルウェーの国営企業ENOVA SFから20億ノルウェークローネ（約260億円）の助成金プログラムに採択されました。EREにとっては初の海外における洋上風力発電事業であり、浮体式洋上風力発電事業としては五島市沖上風力発電事業に続くものです。EREは陸上風力・洋上風力発電事業でのノウハウや経験を活用して本事業に貢献していく所存です。

EREは、今年6月に加入した浮体式洋上風力の商用化に向けた技術開発やイノベーション促進を目指すFLOWRAへの加入に加え、ノルウェーでの先進的な取り組みに関わることにより、浮体式洋上風力発電事業をとおして得た知見やノウハウなどを活用し、中期的に日本でも期待される浮体式洋上風力発電事業の本格商用化に向け市場をリードしてまいります。

当社は今後も、洋上風力発電を含む再生可能エネルギーによる発電事業の拡大に取り組み、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

【本事業のサイト】



【本事業の概要】 (現時点での予定であり、今後変更になる可能性があります。)

事業海域	ノルウェー北部、ノルウェー海とバレンツ海の沖合 約 90 km
発電方式 (浮体基礎)	浮体式洋上風力発電 (セミサブ形式【Semi-submersible】※)
設備容量	7万5,000 kW (1万5,000kW/基を5基設置)
事業会社名	ゴリアットヴィンド (GoliatVIND)
出資者 (比率) <比率及び出資時期 の順>	ソースガリレオ (40%) オドフェルオーシャンウィンド (20%) 関西電力グループ (20%) ENEOSリニューアブル・エナジー株式会社 (20%)

※所定の水深まで沈めて半潜水状態とした浮体設備に風車を設置する形式。波の影響を受けにくいため、沖合に設置するのに適する。



【出資者の概要（ERE以外）】

ソースガリレオ

会社名	ソースガリレオ (Source Galileo)
所在地	アイルランド、ダブリン (Grand Canal House, 1 Grand Canal Street Upper, Ballsbridge, Dublin D04 Y7R5)
代表者	ケビン・リンチ (Kevin Lynch, Chief Executive Officer)
事業内容	洋上風力発電を含む再生可能エネルギー事業

オドフェルオーシャンウィンド

会社名	オドフェルオーシャンウィンド (Odfjell Oceanwind)
所在地	ノルウェー、ベルゲン (Kokstadflaten 35, NO-5257 Kokstad, Norway)
代表者	ペア・ランド (Per Lund, Chief Executive Officer)
事業内容	浮体式洋上基礎の設計・建設・運営に関するソリューションサービス事業及び関連プロジェクト

関西電力グループ

主要会社名	関西電力株式会社
所在地	大阪府大阪市北区中之島3丁目6番16号
代表者	取締役代表執行役社長 森 望
事業内容	電気事業、熱供給事業、電気通信事業、ガス供給事業等

以上